



## 带状疱疹やワクチンのことについての Q&A



**Q** 带状疱疹はどんな病気ですか？

**A** 带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

**Q** 带状疱疹ワクチンに種類はありますか？

**A** 带状疱疹ワクチンには生ワクチン（ビケン）、組換えワクチン（シングリックス）の2種類があり、いずれか1種類を接種します。各ワクチンは、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なります。

**Q** 带状疱疹ワクチンにはどのような効果がありますか？

**A** 生ワクチン、組換えワクチンのいずれも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

带状疱疹に対する効果	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

※厚生労働省ホームページより

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

**Q** 帯状疱疹ワクチンを接種することにより、どのような副反応の発生が想定されますか？

**A** ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、ギラン・バレー症候群がみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
70%以上	－	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤*、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感*、腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹*、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

\* ワクチンを接種した部位の症状

※厚生労働省ホームページより

**Q** 帯状疱疹を発症したことのある場合でも接種できますか？

**A** 帯状疱疹は再発する場合がありますので、過去に帯状疱疹を発症した方も接種可能です。現在発症している方は、帯状疱疹が治癒し、後遺症がなく、体調が十分に回復するのを待って接種をしてください。どのくらいの間隔をあけて接種するかは、医師とご相談の上、決めてください。ただし、ワクチンを接種しても、すでに発症した帯状疱疹による神経痛などに対して効果はなく、あくまでも今後の帯状疱疹の再罹患の予防のためであることをご理解ください。

**Q** これまでに水痘（水ぼうそう）に罹患していなくても接種できますか？

**A** 過去の水痘の罹患歴がなくても（または不明でも）、接種可能です。